証③

私は、この尚絅学院へ入学するまで、キリスト教というものにまったく触れたことがなく礼拝を捧げることも聖書を読むことも賛美をすることも初めてでした。

まず、この3年間を振り返り感じていることは神様が導いてくださった今までの経験は私の人生にとても価値のあるものだなということです。私は幼いころからどんなに真剣に物事を考えたり行動しても後から後悔をしてどうしてこの選択をしたのだろう、始めなければ良かったなどとすごく苦しんでしまうということが日常生活で多くありました。

また、周りの目も気にしてしまい、表では明るくしていても心のどこかで小さな不安を持ち続けていたこともありました。自分のことを信じることができず、挑戦することの恐怖があり、自分のことがとても嫌いでした。けれど、３年間礼拝を聞き続け様々な神様の御言葉、御業を知った今、自分の今を振り返ってみました。私が今神様のすばらしさを身近に感じることができるのは尚絅へ入学することができたからだと思っています。苦しいことがあったとき、それを乗り越えてきたからこそ今があるのであり、以前の私は、友達と喧嘩した時など相手のことを充分に考えることができていなかったと、気付きました。

詩編３３章４編「主の御言葉は正しく、御業は全て真実。」

この聖句を知り、私は気付くことができました。今まで苦しいと感じていたことは幸せに、辛いと感じていたことは感謝に、悲しいと感じていたことは喜びへと繋がっていたのです。

主が私を導いてくださった全てのものが私の人生に正しいものであり、同時に真実でありました。たった３年間という期間の中の恵みが、私のこれからの人生を大きく変え、自信を取り戻すことができたことに感謝を感じます。

神様は私の道を今も照らし輝かせてくださっています。今の私は入学したときから大きく成長し新しいものへ挑戦し、自分が選択したことに自信を持つことができました。

これから多くの選択をしなくてはいけません。キリスト教に出会わなければ、選択するのが怖くなり、後悔ばかりする日々になっていたと思います。

私は中学校生活の中で高校や大学などの進路をずっと考えていました。私は将来何を目指しているのか、何をしたいのか。まだ見つけることができていません。

でもこの神様からの恵みを通して、わたしはどんな選択をしたとしても、後悔することがなく輝くだろうと自信があります。このような考え方ができているのはやはり尚絅へ入学した私の選択からです。今までを振り返ることが私の自信にもなりました。

神様はたった１人の私のために、愛を持って恵みを届けてくださる方です。そのことに感謝を忘れず、同時にこのお話をお聞きになった人に私の話を通して、神の恵みやすばらしさを伝えられたことに幸せを感じます。